

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 精工技研  
 コード番号 6834 URL <http://www.seikoh-giken.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部副部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 上野 昌利  
 (氏名) 斎藤 祐司

TEL 047-388-6401

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,507	0.1	△122	—	△34	—	△113	—
24年3月期第3四半期	3,503	△2.9	△29	—	△24	—	△20	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △100百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△12.45	—
24年3月期第3四半期	△2.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	20,476	19,224	93.8	2,102.03
24年3月期	20,680	19,319	93.4	2,113.02

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 19,212百万円 24年3月期 19,312百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,890	2.3	10	159.9	50	10.2	△70	—	△7.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	9,333,654 株	24年3月期	9,333,654 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	193,671 株	24年3月期	193,671 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	9,139,983 株	24年3月期3Q	9,140,010 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、債務危機問題を背景に欧州の景気低迷が継続し、同地域への輸出減少等から中国経済の減速感が強まることとなりました。米国においても、海外景気の下振れや「財政の崖」への懸念が、企業の設備投資抑制や消費者マインドの落ち込みを招いています。

わが国においても、海外経済の減速に加え、尖閣諸島問題に端を発する日中関係の悪化が対中輸出にマイナスの影響を及ぼし、貿易収支の赤字が続いています。東日本大震災からの復興需要が国内経済を下支えしているものの、雇用・所得環境は依然厳しく、内需の拡大にも勢いはありません。そうした中、12月に行われた衆議院議員選挙により政権が交代。新政権による大胆な金融緩和と大規模な財政投資への期待感から円相場は下落し、株価は上昇基調にあります。

当社グループと関連する情報通信・デジタル家電関連業界においては、薄型テレビやデジタルカメラ等の価格下落が進む一方で、スマートフォンやタブレット端末といったポータブル高機能通信機器への需要が強まりました。スマートフォンの普及に伴って流通するデータトラフィック量も急増しており、高速無線通信「LTE」サービスに対応する基地局の増設が急速に進んでいます。

こうした経営環境の中で当社グループは、光ディスク成形用金型をはじめとする各種金型や薄肉成形品、高耐熱レンズ等を主力製品とする精機関連と、光通信網の敷設に用いられるコネクタ等の各種部品や、その部品を製造するための機器等を主力製品とする光製品関連の両セグメントにおいて、受注拡大に向けて、顧客とのコミュニケーション強化と新技術、新製品の開発に取り組みました。期中には、部門長を中心とするプロジェクトを社内立ち上げ、事業課題の明確化とこれを解決するための戦略構築、その遂行状況の共有を図りました。

販売面においては、既存顧客の維持、取引拡大と新規顧客の開拓に取り組みましたが、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は3,507,104千円（前年同四半期比0.1%増）となり、前年同四半期とほぼ同じ水準に留まりました。損益面においては、販売強化や事業改善に伴う費用等の増加に伴い、営業損益は122,871千円の営業損失（前年同四半期は29,172千円の営業損失）となりました。経常損益は、業務受託料や為替差益等により営業外収益が増加したものの、34,735千円の経常損失（前年同四半期は24,855千円の経常損失）となりました。法人税等を控除した後の四半期純損益は、113,790千円の四半期純損失（前年同四半期は20,361千円の四半期純損失）となり、前年同四半期から悪化いたしました。これは主に、前年同四半期に固定資産売却益等の特別利益を計上していたことに拠ります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 精機関連

精機関連においては、当社のコアテクノロジーである精密金型技術や、その応用により開発した微細転写技術を活用し、医療関連やバイオ関連等への新たな市場に向けて精密な成形品を供給するための市場調査や技術開発、顧客開拓に取り組みました。光ディスク金型関連では、金型のユーザーである成形メーカー各社の設備稼働が停滞している中、ブルーレイディスク成形用の金型の販売が前年同四半期を上回って推移しました。一方、スマートフォンや携帯電話に搭載されるカメラ向けの高耐熱レンズの売上は、中国の顧客に向けて堅調に拡大いたしました。レンズ関連では、引き続き携帯端末市場での顧客開拓に注力しながら、より高画素なレンズの量産化や新たな素材、構造の新型レンズの開発、携帯端末以外の用途に向けた市場開拓等を進めています。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間の精機関連の売上高は864,424千円（前年同四半期比26.3%増）となりました。営業損益につきましては、採算性の高い光ディスク金型の売上高が伸長したほか、レンズ関連では生産の自動化促進により原価率が前年同四半期から改善し、159,778千円の営業損失（前年同四半期は182,262千円の営業損失）となりました。

#### ② 光製品関連

光通信関連市場は、スマートフォンや携帯電話の普及、企業のクラウドコンピューティングの利用拡大やデータセンターの高速大容量化等を背景に、世界的に光通信インフラの増強が進んでいます。しかしながら欧州地域においては、長引く債務危機問題を背景に経済環境が悪化しており、通信設備等の敷設に向けた公的投資や企業の設備投資は停滞した状況が続いています。そうした中、光通信用部品に関する検査・測定器の有力メーカーであるDATA-PIXEL SAS社（仏）の株式を49%取得し、持分法適用会社化いたしました。これにより今後は相互の技術や設備、人的ネットワークや情報といった経営資源を有効に活用し両社の企業価値の向上に努めてまいります。

販売面では、単価の下落圧力が続いていることや、採算性の低い一部の製品の製造を中止したこと等に伴い、当第3四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は2,642,679千円（前年同四半期比6.3%減）となりました。営業損益につきましては、売上高の減少に加え、採算性の良い製品の販売が低調であったこと等により前年同四半期より悪化し、36,906千円の営業利益（前年同四半期比75.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は20,476,307千円となり、前連結会計年度末から203,890千円減少いたしました。流動資産は14,910,475千円となり、前連結会計年度末から453,111千円減少いたしました。その主な要因は、DATA-PIXEL SAS社(仏)の株式取得、売上債権の増加、買掛金の減少等に伴って現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は5,565,832千円となり、前連結会計年度末から249,221千円増加いたしました。その主な要因は、DATA-PIXEL SAS社の株式取得により投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は1,251,719千円となり、前連結会計年度末から109,366千円減少いたしました。その主な要因は、光製品関連の売上高が減少したことにより買掛金が減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は19,224,587千円となり、前連結会計年度末から94,523千円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、現在まで概ね計画の範囲内で推移しており、平成24年11月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,835,208	12,491,102
受取手形及び売掛金	1,385,029	1,342,282
商品及び製品	276,110	250,605
仕掛品	267,572	275,984
原材料及び貯蔵品	404,661	412,031
未収還付法人税等	11,322	6,543
その他	186,166	136,676
貸倒引当金	△2,484	△4,751
流動資産合計	15,363,586	14,910,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,937,555	3,946,807
減価償却累計額	△2,253,404	△2,326,604
建物及び構築物(純額)	1,684,150	1,620,202
機械装置及び運搬具	1,991,546	1,985,152
減価償却累計額	△1,813,641	△1,781,414
機械装置及び運搬具(純額)	177,904	203,737
土地	2,035,325	2,035,325
建設仮勘定	152,004	180,792
その他	1,575,622	1,603,188
減価償却累計額	△1,371,973	△1,396,187
その他(純額)	203,649	207,001
有形固定資産合計	4,253,035	4,247,059
無形固定資産		
その他	49,819	50,215
無形固定資産合計	49,819	50,215
投資その他の資産		
投資有価証券	14,594	275,300
投資不動産(純額)	928,980	925,629
その他	70,180	67,626
投資その他の資産合計	1,013,755	1,268,556
固定資産合計	5,316,610	5,565,832
資産合計	20,680,197	20,476,307

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	312,594	179,870
未払法人税等	45,941	18,231
その他	374,924	406,119
流動負債合計	733,460	604,221
固定負債		
退職給付引当金	366,991	399,841
長期未払金	145,370	145,370
長期預り保証金	94,231	81,381
長期預り敷金	19,037	19,037
その他	1,995	1,868
固定負債合計	627,625	647,497
負債合計	1,361,085	1,251,719
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,571,419	10,571,419
利益剰余金	2,921,991	2,808,201
自己株式	△427,218	△427,218
株主資本合計	19,857,875	19,744,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,378	△2,716
為替換算調整勘定	△542,561	△528,847
その他の包括利益累計額合計	△544,939	△531,564
新株予約権	6,175	12,067
純資産合計	19,319,111	19,224,587
負債純資産合計	20,680,197	20,476,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	3,503,797	3,507,104
売上原価	2,349,205	2,306,825
売上総利益	1,154,592	1,200,279
販売費及び一般管理費	1,183,765	1,323,151
営業損失(△)	△29,172	△122,871
営業外収益		
受取利息	22,629	21,773
受取配当金	372	347
業務受託料	—	21,564
投資不動産賃貸料	30,235	30,189
為替差益	—	33,092
その他	9,715	8,960
営業外収益合計	62,952	115,927
営業外費用		
不動産賃貸原価	8,436	10,687
支払手数料	—	15,844
為替差損	48,140	—
その他	2,058	1,260
営業外費用合計	58,635	27,791
経常損失(△)	△24,855	△34,735
特別利益		
固定資産売却益	44,440	1,881
事業譲渡益	15,760	—
特別利益合計	60,201	1,881
特別損失		
固定資産除却損	3,798	4,818
災害による損失	975	—
特別損失合計	4,773	4,818
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30,571	△37,673
法人税、住民税及び事業税	61,199	73,166
法人税等調整額	△10,265	2,950
法人税等合計	50,933	76,117
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,361	△113,790
四半期純損失(△)	△20,361	△113,790

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,361	△113,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,835	△338
為替換算調整勘定	△66,158	2,884
持分法適用会社に対する持分相当額	—	10,828
その他の包括利益合計	△67,994	13,375
四半期包括利益	△88,356	△100,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,356	△100,415
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	684,322	2,819,475	3,503,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	684,322	2,819,475	3,503,797
セグメント利益又は損失(△)	△182,262	153,089	△29,172

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な  
変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	864,424	2,642,679	3,507,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	864,424	2,642,679	3,507,104
セグメント利益又は損失(△)	△159,778	36,906	△122,871

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な  
変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は平成24年12月20日開催の取締役会において、精鼎光學股份有限公司（中華民国）の株式を取得することを決議し、平成25年1月14日に取得しました。なお、当社は同社を持分法適用関連会社にする予定であります。

(1) 株式取得の目的

これによるコンタクトレンズビジネスとの関わりを皮切りに、当社のコアテクノロジーである金型技術や精密研磨、精密加工技術を生かし、バイオ・医療関連等の市場に向けて成形品を供給するビジネスへの展開を図るため。

(2) 株式取得の相手会社の名称

精富國際股份有限公司（中華民国）

(3) 取得した株式に係る会社の名称、事業内容、規模

①名 称：精鼎光學股份有限公司

②事業内容：各種レンズの開発、製造、販売

③規 模：平成24年12月期 資本金 90,000,000NTD

(4) 株式取得の時期

平成25年1月14日

(5) 取得した株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

①取得した株式の数：1,500,000株（譲受けによる取得株式数）

5,500,000株（第三者割当増資引受けによる取得株式数）

②取得の対価：70,000,000NTD ※取得原価は現時点では未確定であります。

③取得後の持分比率：35.0%

なお、精鼎光學股份有限公司は、平成25年1月30日付けで精能光學股份有限公司へ社名変更しております。